

2023年11月30日

各 位

株式会社大和証券グループ本社  
大和証券株式会社  
Fintertech 株式会社  
株式会社 Ginco

大和証券グループと株式会社 Ginco による、  
パブリックチェーンにおけるセキュリティトークンの発行及び  
発行プラットフォーム開発に向けた概念実証の実施について

株式会社大和証券グループ本社（本社：東京都千代田区、執行役社長 中田誠司、以下「大和証券グループ本社」）、大和証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 中田誠司、以下「大和証券」）、Fintertech 株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長 相原一也、以下「Fintertech」）及び、株式会社 Ginco（本社：東京都中央区、代表者 森川夢佑斗、以下「Ginco」）は、本邦初のパブリックチェーンにおけるセキュリティトークン（以下「ST」）の発行及び発行プラットフォームの開発に向けて、概念実証（以下、「本 POC」）を行います。

## 1. 本 POC の背景

我が国においては 2020 年 5 月 1 日の金融商品取引法及び関連する政府令の改正施行により、「電子記録移転有価証券表示権利等」が規定され、ST について法令に準拠した取扱いが可能となりました。

大和証券グループ本社の中核子会社である大和証券ではブロックチェーン技術を活用したデジタル証券である ST を 2022 年 2 月に事業化し、これまでの資産裏付型 ST の累計引受額は 226 億円であり、2023 年 11 月 30 日現在、大和証券は金額ベースで国内トップのシェアを有しています。

現時点で、国内で発行された ST は、主にプライベートチェーンやコンソーシアムチェーン上で発行されていますが、グローバルではパブリックチェーン上で発行される ST も存在しています<sup>1</sup>。

パブリックチェーン上で ST の発行を行う上では様々な課題がありますが、一方で、外部からの参照や移転指示等が自由であり、透明性やインターオペラビリティの観点で有用である等のメリットがグローバルで活用が進む理由となっています。

こうした背景を踏まえ、今回、大和証券グループ本社及び大和証券に加え、パブリックブロックチェーンを活用した金融システム構築に精通する Fintertech 及び Ginco が協同し、パブリックチェーンにおける ST の発行及び発行プラットフォームの開発に向けて、本 POC を実施いたします。

---

<sup>1</sup> 2021 年 4 月に欧州投資銀行（EIB）が Ethereum 上で債券を発行している他、2023 年 2 月には Siemens が、2023 年 9 月には ABN Amro が、Polygon 上で債券を発行している

## 2. 本 POC の目的

パブリックチェーンでの ST 発行における主な論点として「ハッキングによる秘密鍵の流出」と、「犯罪による収益の移転防止に関する法律における取引時確認」があります。

本 POC では、主に「ハッキングによる秘密鍵の流出」に焦点を当て、ハッキングが起こった場合に、どのようにして顧客の資産を守ることができるかについて、検証します。

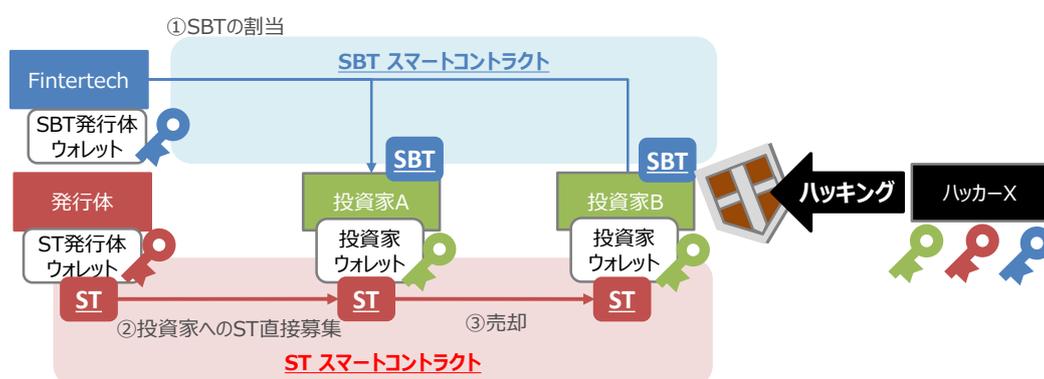
## 3. 本 POC の概要

本 POC では、Fintertech が、パブリックチェーンである Ethereum 上に用意された投資家 2 名（以下、「投資家 A」「投資家 B」）のアドレスに対して、ソウルバウンドトークン<sup>2</sup>（以下、「SBT」）を付与いたします。

その後、発行会社が Ethereum 上で ST を発行します。当該 ST は、証券会社を介さず、少人数私募により投資家 A に販売されます。投資家 A は投資家 B に対して、当該 ST を売却します。

ST のスマートコントラクトにより、当該 ST は、SBT が付与された投資家しか売却、取得できないよう設計されており、これによってハッキングによる秘密鍵の流出時にも ST の不正な移転ができないような設計としております。

また、投資家の暗号鍵が盗まれた場合、発行体の暗号鍵が盗まれた場合、SBT 発行体の暗号鍵が盗まれた場合の 3 ケースにおいて、ST 及び SBT のスマートコントラクトの設計により、問題の発生を未然に防ぎ、または発生時に元の状態に戻すことが可能であることを示す予定です。



参加企業	POC における役割
大和証券株式会社	本実証実験の統括、プランニング、検討内容の整理・確定
Fintertech 株式会社	SBT の発行 本実証実験における技術的なアドバイス・検証
株式会社 Ginco	本実証実験におけるシステム環境の構築 本実証実験における技術的なアドバイス・検証

<sup>2</sup> ソウルバウンドトークンとは譲渡不可能なトークン。保有する本人の証明等に活用されることを期待されている

#### 4. 今後の予定・展望

本 POC については、2024 年 1 月以降での実施を予定しております。POC 終了後、検証結果を含め、ご報告をする予定です。

#### Fintertech 株式会社について

Fintertech は、大和証券グループ及びクレディセゾンがそれぞれ創業来培ってきた金融ビジネスのノウハウを礎としながら、最先端のテクノロジーの活用や外部企業との連携により次世代金融サービスを機動的にかつ柔軟に創出することを目指しています。

主な事業として、暗号資産を活用した「デジタルアセット担保ローン」及び「デジタルアセットステーク（消費貸借）」、クラウド型応援金サービスの「KASSAI」、「未来をわかちあう投資」を提供する貸付型クラウドファンディングサービス「Funvest」を展開しています。

会社名	Fintertech 株式会社
所在地：	東京都千代田区一番町 5 番地アトラスビル 6 階
代表者	相原 一也
設 立	2018 年 4 月 2 日
事業内容	次世代金融領域における新たな金融サービスの創出、運営
企業 URL	<a href="https://fintertech.jp/">https://fintertech.jp/</a>

#### 株式会社 Ginco について

Ginco は、「経済のめぐりを変えていく」をビジョンに掲げ、ブロックチェーン技術を活用し、企業の Web3 事業を支援する Web3 Development Company です。

2017 年の創業から Web3 業界の総合ディベロッパーとして、より早く、より安全に、より費用対効果高くブロックチェーンを活用するためのインフラを提供してまいりました。

Web3 サービス開発のための API&SDK サービス「Web3 Cloud」や、業務用暗号資産ウォレットを中心とする「Web3 SaaS」、コンサルティングなどのプロフェッショナルサービスなどの B2B 事業に加え、個人向けモバイルウォレットアプリ「Ginco」を提供するなど、Web3 の社会実装に向けて多角的に取り組んでいます。

会社名	株式会社 Ginco
所在地：	〒104-0032 東京都中央区八丁堀三丁目 27-4
代表者	森川夢佑斗
設 立	2017 年 12 月 21 日
事業内容	クラウド型ブロックチェーンインフラおよび、同インフラを利用した各種エンタープライズサービスの開発・運営・提供
企業 URL	<a href="https://ginco.co.jp/">https://ginco.co.jp/</a>

以 上